

中心市街地再構築全体構想 町民会議の概要について



委員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

弟子屈町役場
まちづくり政策課

中心市街地の検討にあたって (背景)

【全国では】

- ・ 高度経済成長期に建てた公共施設が老朽化
- ・ 人口減少や少子高齢化が加速
- ・ 地方自治体における厳しい財政状況

中心市街地の検討にあたって (背景)

【弟子屈町でも】

- ・ 公共施設が老朽化し維持管理方針が急務
昭和56年以前の施設が43%、寿命とされる築30年以上の施設が48%
- ・ 人口減少や高齢化と併せて市街地の空洞化
ピーク人口（S39）13,582人から、平成31年6月では7,156人（▲47%）
平成27年では、平成2年に比べ高齢人口が74%増加
- ・ 厳しい財政状況、投資的経費、維持補修費の増加
交付税の減少と公債費償還額の高止まりや投資的経費等の増加で財政が硬直化

厳しいまちの状況下においても、
夢のあるまちづくりを進めるために

- ・ 第5次弟子屈町総合計画の推進
平成24年～平成33年（10年間）
- ・ 弟子屈町公共施設等総合管理計画の策定
平成28年策定（10年ごとに見直し）

まちづくりにおける 中心市街地の目指すもの (旧営林署跡地)

- ・ 公共施設の統廃合や集約化
- ・ 市街地の空洞化の抑制と賑わいの創出
- ・ 町民が集うための拠点
- ・ 交流人口拡大による地域と観光の交流拠点
- ・ 温泉熱を利用した発電や温泉の二次利用
- ・ 民間活力の最大限の導入（官民連携）

計画の検討に伴い重要視して いただきたい視点!!

- ◎ まずは、皆さんの **大きな夢** と **自由な発想** で！
- ◎ 未来の弟子屈町を見据えた案
いま必要だけではなく、**長く利用** できるもの
- ◎ **箱もの** のありきではなく、
どういう事をしたいから何がある！
【ソフト・コンテンツ重視】

町民会議の進め方について（１）

国土交通省の支援＝先導的官民連携支援事業



【弟子屈町】

複合型地域観光交流施設の整備・運営に関する事業手法調査

◎対象経費

コンサルタント等の専門家に調査や検討を依頼する経費
(委託費)

町民会議の進め方について（２）

【今年度の取り組み】

- ① 町民会議（月１回・計５回程度開催）
ワークショップ等により
旧営林署跡地の整備する施設の意見を集約
- ② コンサルタントによる官民連携手法の分析
P P P ・ P F I
- ③ 中心市街地再構築全体構想（素案）の決定（最終町民会議）
複合型地域観光交流施設の整備計画決定

町民委員会のゴールは？

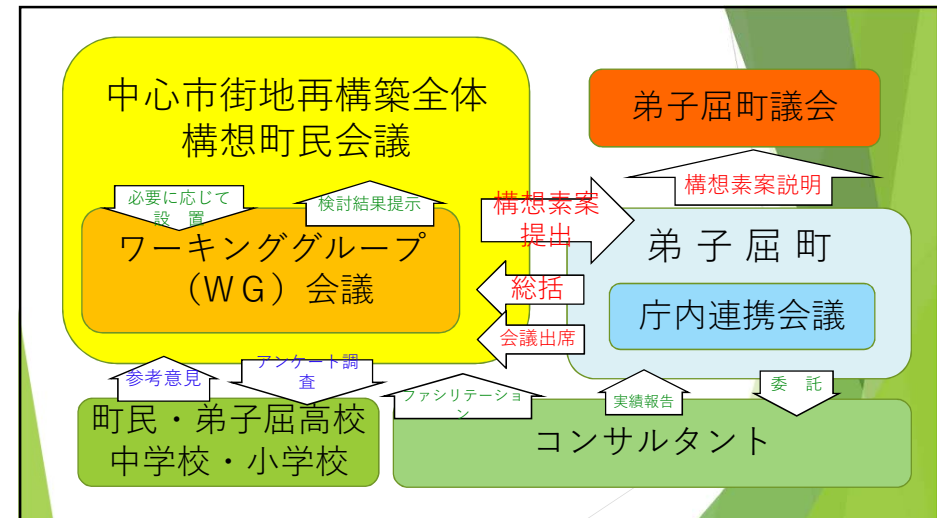
中心市街地再構築全体構想の策定

弟子屈町に対し構想案の提言（提出）（ゴール）

町における具体的な整備の検討

【議会への報告・議決】

事業着手



年次的な取り組みの予定

- 令和元年～ 中心市街地再構築全体構想の検討
- 令和2年～ 全体構想詳細決定・民間参入の検討
- 令和3年～4年 基本設計・実施設計
- 令和5年～9年 工事着工・完成・一部供用開始
- 令和10年 完全供用開始